



ぶんよう

2018年(平成30年度)9月号

下関市立文洋中学校

下関市上新地町 5-6-1

電話 223 - 8176

FAX 223 - 8177

～お礼～

例年より熱中症に十分配慮が必要となった夏休みも、ようやく終わりとなりました。この間、部活動の各種大会、夏休み勉強会、PTA作業、土曜巡視等、保護者の皆様や地域の皆様には温かいご支援いただき心よりお礼申し上げます。

また、先日、雨天のため順延致しました体育祭も、平日にも関わらずテントの設営・撤収やバザー等、たくさんの方々にご協力をいただきありがとうございました。

今後ともよろしくご高配の程お願いいたします。 校長 磯部 芳規

★体育祭

9月10日(月)に雨天順延した第71回体育祭を開催いたしました。今年の体育祭も体育祭実行委員や生徒会、応援団を中心として、3年生が中心となって練習を企画し運営する、生徒自らが「自分たちの手で創る」新しい形の体育祭に臨みました。今年のスローガンは「とどろけ!文洋魂!! ～平成最後の大舞台 熱き涙があふれるまで～」でした。今年の体育祭では生徒の入場から退場までの動きが、生徒リーダーによって確実に指示がなされ、競技一つ一つが演技のように目に映りました。生徒の様子から、あらためて中学生の行動力を含め可能性を感じました。生徒は感動のある体育祭を味わったのではないかと思います。

保護者の皆様、地域の皆様ご声援ありがとうございました。



勝利をめざして 白 VS 青



集合写真

★夏休み勉強会 … 基礎基本の徹底!!

8月1日(水)・2日(木)・6日(月)、夏休みを利用して勉強会が行われました。

勉強会では校区の小学校の校長先生をはじめとして小学校の先生方や地域ボランティアの方も参加して下さりご指導をいただきました。文洋中学校の勉強会は小学校からの勉強を確認することができる会となっています。



★奉仕作業

8月18日(土)に学校運営協議会・青少年補導委員・PTA学年部の皆さんが中心となり、保護者・地域の皆さんと全校生徒、教職員が一緒に奉仕作業を行いました。暑い中、グラウンドの草抜き・溝掃除・土手の草刈り等、ご協力ありがとうございました。

★下関市中学校秋季大会

7月28日(土)～31日(火)に下関市中学校秋季体育大会が各会場で行われました。各部とも3年生を中心に文洋中学校らしく、さやかに最後まで全力で競技しました。結果、女子バレーボール部が団体で3位となりました。また個人では卓球部男子の佐藤君(3年)が3位、柔道部の松浦君(3年)、中村さん(1年)がそれぞれ2位、女子ソフトテニス部手島さん・清水さん(3年)ペアがベスト8となり9月29日から行われる県体に出場します。



★第8回下関市中学生英語暗唱・弁論大会

9月14日(金)に下関市中学生英語暗唱大会が開催され、3年生の真倉さんが本校を代表して大会に臨みました。先生と内容をしっかり考えた素晴らしい発表でした。文化祭で発表してくれる予定です。



★第18回全国中学校総合文化祭 8月24日(金)・25日(土) 会場アルカス SASEBO

長崎県の佐世保市で行われた全国中学校総合文化祭に山口県代表として総合の時間に取り組んでいる文洋の平家太鼓が出演しました。大会テーマは「輝こうで!～文化の香りを 長崎から海風にのせて～」でした。文洋中学校は岩手県、沖縄県、徳島県の後の4番目に出演しました。今回、文洋中学校では平家太鼓に平家踊りも加え、女子生徒が披露しました。生徒は下関の代表的な踊りを長崎で再現しました。観客の方、関係者の皆様から大変好評を頂きましたことをご報告させていただきます。ご指導頂きました八音会の皆様や、ご支援頂きましたPTA、地域の皆様、本当にありがとうございました。生徒は「下関の文化の香りを 文洋から海風にのせて」表現したと思います。



★文洋校区連合運営協議会

文洋校区の3校の学校運営協議会が集まり「文洋校区でめざす子ども像」について協議しました。文洋校区の連合運営協議会の今年のテーマは「家庭の教育力を高めるために」です。今回の連合運営協議会では小中地域連携の3つのプロジェクトから、それぞれ今の各学校の課題をあげながら解決に向けてどのように取り組んでいくかを確認しました。また、最近、子どもたちの登校時の携行品の重さについて意見を出し合いました。

主な協議内容、取組は以下のとおりです。

- 1 昨年から取り組んでいること～「学年×10分+10分」の家庭学習
- 2 確かな学びプロジェクト ～ノーメディア DAY (仮称) の検討
- 3 健やかな育ちプロジェクト～活動を学校新聞等で発信・学校と保護者の協働活動
- 4 豊かな心プロジェクト 主な取組～あいさつ・おはピカ DAY・読書活動の充実
- 5 登校時の携行品・・・教科教室の利点を生かして考える。自ら判断・計画する力をつける

*運営協議会の委員の皆様貴重なご意見をありがとうございました。

★回想・検証

文洋中学校コミュニティ・スクールでは平成27年から文洋中学校、神田小学校、桜山小学校、関西小学校の4校の校長先生方が3つのプロジェクトによりコミュニティ・スクールのいろいろな取り組みを進めてきました。

中学校も生徒が知・徳・体のバランスがとれた大人へ成長するための教育活動を考えてきました。学習面で生徒が自ら意欲的に学ぶにはどのような環境が必要なのかと考え取り入れた教科センター方式。第3舎に学級を設置し、第2舎が教科センター校舎になったことで、何か校舎は生き生きしたように感じています。また、約15年前から取り組んでいる総合的な学習「総合B」では、地域の方々のご協力のおかげでいろいろな活動に取り組むことができています。一昨年にはじめたオハピカ DAY は、現在、下関短期大付属高等学校も参加して小中高連携による活動に広がりました。部活動では少子化により部活動数が減少傾向の中、部活動の目的を「楽しむ力を身につける」と考え、小学生の希望を聞きながら増やしてみました。この他にも、スタディ・デイや縦割り集団による教育活動も本校の特色になっています。文洋中学校では、魅力ある学校作りに向け新しい学びの仕組みを進めてきましたが、それらが順調に機能しているか検証が大事と考えました。と同時に、改善点があればさらに再考し改善しなければならいと考えています。先日学校評価アンケートを実施しました。家庭学習やあいさつによく取り組んでいる生徒が多くなっていることや学校教育目標が定着していると言った内容もありました。が反面、課題であると考えられる項目も見られました。

今回の文洋校区連合運営協議会の委員の皆様からいただいたご意見や学校評価アンケートなどをしっかりと分析し、校区の小・中学生が安全に安心して、さらに楽しい学び(仕組み)のある学校に今以上に開発を進めたいと考えます。その先にあるのは、生徒が文洋校区を好きな大人に成長してくれることに繋がると期待しています。願わくば、下関に、文洋校区に在住して欲しいなど期待しながら。

学校教育目標

感動のある文洋中学校